

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	幼保連携型認定こども園ミナバもくせいのもり
施設所在地	東京都昭島市
法人名	社会福祉法人多摩育児会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

『動植物』

<テーマの設定理由>

当園は緑豊かな東京都の郊外に位置しております。開園し、3年目の幼保連携型認定こども園です。昨年度も園の特色である果樹園での活動と、烏骨鶏や川魚等の生き物の飼育を通して、動植物に興味関心を広げてきました。今年度も園の特色である身近な園環境の中で動植物と出会い、探求する心を育み、深めるため、このテーマの設定としました。

2. 活動スケジュール

10月28日 鈴木純さん 植物の観察

2月26日 鈴木純さん 植物の観察、遊び

3月10日 鳥類についてのお話

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・虫メガネ

・野草のロゼットハンドブック

プロジェクター

パーテーション

カード

・デジタル顕微鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

戸外活動や園外活動を通して、植物の観察をしたり、ハンドブックを使い調べる姿が見られた。また、園庭で拾ってきた植物を顕微鏡を使い観察していた。園内にある植物について探求を行うため、植物観察家の鈴木純さんと一緒に活動を行う。本を使い活動を行うことで植物により興味がわき、日常の活動の中で自ら調べるようになった。また、動物にさらに興味を持てるよう、生命の誕生と進化の歴史、動物の種類と特徴、繁殖方法の違い等についても学んだ。園内の植物や飼育している魚や烏骨鶏など、自分たちで生態を調べたりする姿があった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

冬に近づくにつれ「はっぱかれてきちゃったね」「すくなくなってきた」と話していた。芽について純さんに教えてもらおうと「このきにも『め』があるよ!」「おおきくなってきた」と友だちと観察していた。また本を使い観察すると「これにてるよ!」「でもぎざぎざしていないからちがうんじゃないかな?」と回数を重ねていくうちに自分たちでも違いに気が付くことができていた。

動物については、鳥類の生態について園で飼っている烏骨鶏により興味を持ち、観察したり、家庭でも調べてきて「このどうぶつはなににるいでしょう?」とクイズを出し合ったりなど友だちと話す姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育の日常の中に本や虫メガネなど取り入れることで、自ら興味を持って調べる姿が見られた。また講師の先生をお招きし、様々なことを伝えてもらうことでより興味を持つことができ子どもたちからも「しらべてみよう!」「かんさつしてみたい!」という声があがるようになっていった。またポートフォリオを作成し、まとめることで自分たちのしてきた活動を振り返ることができ、次の活動にも繋げることができていた。プロジェクターを使用し、子どもたちが年下の子に発表することで、自分たちがしてきた活動に自信を持って行うことができていた。身近な動植物についても講師の先生をお招きし詳しく教えていただくことで子ども保育者も楽しく学ぶことができ、今後にも繋がっていくと感じた。